

小槌第8仮設団地 仮設住宅支援員の一日

大槌町には48の仮設団地があり、支援員は集会所・談話室のある26ヶ所に配置され、12団地は巡回で対応しています。今月は小槌第8仮設団地の一日をご紹介します。



「お茶、飲みに来て下さいね」笑顔いっぱいの支援員

紹介します。出勤後、ゴミを拾いながら、団地内を巡回。10時にラジオ体操。最近暑いので、体操後に冷たい麦茶をお出ししています。11時に声掛けを開始。平日のこの時間はお留守のお宅も多く、一度もお会いしたことのない住民もいらつしやり、元気がどうか気になります。

声かけの際、足の悪い方には玄関まで出なくてすむよう、茶の間の窓から声をかけることもあります。声かけしていると、話はずんでつい長くなることも。この日も窓越しにある住民の方と、その方がボランティアの方に描いて貰った似顔絵を見せて貰いながら、楽しくお話ししました。昼食後、午後の巡回とラジオ体操。夕方、残りの住戸の声かけをします。以前はもう少し早い時間に声か

けしましたが、遅くしたことで帰宅した方を見かけることができ、より多くの方の確認が取れるようになりました。当初は住民の方の情報が全く無く、被災状況の様子もわからない為、家族のこなどの不意な内容の話をしてしまい、反省することもたびたびでした。毎日声かけしながら回るうち、打解けいろいろ教えて貰えるようになりました。

「これからも頑張ります！」

8:30	出勤 掃除
8:45	巡回 (ゴミを拾いながら)
10:00	ラジオ体操
11:00	声かけ、半数 (60件ほど)
14:00	巡回 (ゴミを拾いながら)
15:00	ラジオ体操
16:30	声かけ (残り半分) 畑の水やり 合間を見て配布物や日報等作成
17:30	業務終了

最近、住民の方から、「いつもありがとう。」の言葉をいただくようになりました。また、日頃会えない住民の方にお手紙を書いたところ「元気です。安心して下さい」とお返事をいただきました。こういうお声を支えに日々頑張っています。

くらしの知恵

自然の力を活用し、涼しく過ごす日本の知恵

今年もじわじわと暑い夏がやってきましたね。ツル性植物を窓の外側に育て、夏の陽射しを遮る事が出来るグリーンカーテン。この効果が期待出来ます。①夏の日光射しを遮る事で、室内での体感温度を抑えられる。②視線を感じる事なく窓を解放す

やってみませんか？
～グリーンカーテン～



る様なプライバシーを緩やかに保護出来る。③涼しさだけでなく、植物の成長を見守る楽しさも感じられる。種や苗から植物を育てる行為は、人の心を癒す効果があります。実は、この効果にこそ大きな期待が込められているのです。

物を調べてみるとキュウリが抜群だそう。ポイントは大さめの苗からの栽培です。暑くなってきた今は苗がグングン成長してくれるみたいで収穫までの期間が短く育つそうです。他に「秋ナス」「秋トマト」も秋の収穫を目標に栽培できるようです。自然の力をうまく活用し快適な環境と暑さを乗り切る野菜の成長を楽しみながら作っていきましょう。

Information

●「一閑張り」作成

【日時】8月9日・8月30日 13:30～15:30 【場所】赤浜第3 (みかづき) ※両日で一つの作品を完成させますので、どちらも参加出来る方、ぜひお越し下さい!!

●炊き出し (バーベキュー)

【日時】8月11日 11:00～13:00 【場所】大槌第5 (和野)

●とりっこ舞

【日時】8月17日・8月31日 【場所】大槌第7

●弁護士の相談会・懇談会

【日時】8月21日 10:30～12:00 【場所】小槌第12 (中村)

●ゲーム・ものづくり (子どもと一緒に)

【日時】8月9～11日 10:00～11:30 【場所】小槌第8 (三枚堂)

●足湯・負けないゾウ作り

【日時】8月13日 10:00～12:00 【場所】大槌第5 (和野)

【日時】8月14日 10:00～12:00 【場所】安渡第2

編集後記

初めまして！今回から支援員新聞がスタートします。インタビューや記事作成等初めての事ばかりで、読みにくいところもあったかと思いますが、いかがでしたでしょうか。

この新聞は、仮設住宅にお住まいの方々に、支援員の仕事内容や思いを知ってほしい、各団地の情報を共有したい、そんな思いから作られています。

今月のスマイルで取材した子

ども達の笑顔を見て、皆さんにもこの新聞と共に笑顔をお届けしたいと強く感じました。

何かに熱中しているお子さんや地域の為に頑張っている方、快適に過ごす為の知恵等、情報をお持ちの方は、お近くの支援員までお知らせ下さい。ぜひ取材させて頂けたらと思います。

ご意見・ご感想は、こちらまで。
大槌町上町1-6/0193-41-2780
otsch.info@gmail.com

今月のスマイル

民謡大好き！大槌町の唄姫たち



まるで姉妹！？仲良しの子ども達

臼澤獅子踊保存会館伝承館で行われている民謡指導は、週2回(月・金)5～80歳の約15名のメンバーで構成されています。

にと、民謡指導を通して子ども達に伝えたいそうです。そんな思いをわかっ

「民謡を唄える様になるだけではダメ。」こう話してくれた指導者の澤山美恵子さんは、対話が出来る様に、人を思いやる事が出来る様

るのでしようか。自然と面倒を見ているお姉さんの姿と、礼儀を学ぶ小さなお姉さんの姿がとても印象的でした。

どうして民謡を始めたの？という問いかけに、「すごく楽しそうだったから！」と元気に答えてくれました。そんな子ども達ですが、お囃子が聞こえた途端、キリッと真剣な表情に変わります。それから音頭に合わせ大人顔負けの唄声を披露してくれました。なかでも子ども達は明るい曲調の「沢内甚句」が大好き。その唄う姿はとてきらきらと見えて、見ているこちら側にもグッとくるものがありました。三世代間交流が魅力的な大槌の民謡。学校だけでは学ぶことのできない付加価値を感じました。唄姫たちと一緒にぜひ民謡を楽しんでみませんか？